記入要領　〔様式2〕教育研究業績書

１．「教育上の能力に関する事項・年月・概要」について

(1) 「学生に対する教育方法の実践例」の欄には、**事項名、実施した期間及び100～200字程度の概要**を記入してください。

(2) 「作成した教科書、教材」の欄には、**教材名、作成年月、科目及び100～200字程度の概要**を記入してください。

２．「職務上の実績に関する事項・年月・概要」について

　(1) 「大学運営に関する実績」の欄には、全学、研究科の委員会委員としての活動など、所属組織全体にかかる活動について、事項名、実施した期間及び100字程度の活動概要について記入してください。

　(2) 「国・地方公共団体の審議会等の活動に関する実績」の欄には、厚生労働省、文部科学省などの国の省庁及び大阪府、大阪市など地方公共団体の審議会等の委員としての活動について、委員会及び職の名称、委嘱期間及び100字程度の活動概要について記入してください。

　(3) 「地域医師及び住民に対する啓発活動」の欄には、地域医師や住民を対象とした講演会の講師など社会貢献、地域貢献に関する活動について、事項名、実施年月、及び100字程度の活動概要を記入してください。

　(4) 「特許等」の欄には、取得した特許名、番号、取得年及び100字程度の概要を記入してください。

(5)「その他職務上の実績にかかる事項・年月・概要」の欄には、(1)～(4)に該当しない職務上の実績のうち、採用予定業務に関連するものがある場合に、その事項名、年月、及び100～200字程度の概要を記入してください。**学会の運営に関する実績については、この欄に記入**してください。

３．「研究上の能力に関する事項」について

　全ての業績は**年代の古い順**に記入してください。**記載する業績がない場合、「該当なし」と記入**してください。

　(1) 「著書、学術論文、症例報告等」について

a. 「発行又は発表の年」の欄には、年号を**西暦**で記入してください。

b. 論文は、**学術雑誌、学会機関誌、紀要**等に学術論文として発表したものを記入してください。

c. 「著者名」の欄には、**共著者全員**の氏名を執筆順に記入し、**応募者の氏名に下線**を引いてください。欧文の場合は、ラストネーム（姓）をフルで、ファーストネーム（名）とミドルネームはイニシャルで入力してください。姓と名の間にはスペース、名とミドルネームは続けて入力してください。　【例】市大　太郎（しだい　たろう）さんの場合：Shidai T

d. （著書：欧文）、（著書：和文）の「発行所、発表雑誌等の名称」の欄には、**出版社名、総ページ数、担当部分**を記入してください。

e. （原著論文：欧文）から（その他の論文等：和文）までの「発行所、発表雑誌等の名称」の欄には、**発表学会誌名、巻、掲載ページ**を記入してください。**号**は記入の必要はありません。

f. **学位論文**は論文名の下に、**（博士論文）または（修士論文）**と記入し、その下に**授与大学、学位番号**を記入してください。

g.**学位指導論文**は、共著の場合はsecond, last, corresponding authorに応募者の記載があるもの、単著の場合はAcknowledgements（謝辞）に応募者の記載があるものを記載し、論文名の下に、**（学位指導論文）**と記入してください。

h.**論文のcorresponding author である場合は、応募者の氏名の左に\***を記入してください。

　(2) 「発表」について

a. **発表者または共同発表者として行った発表について**、業績書に記載されている発表の種別ごとに分けて記入してください。その際、種別が混同しないように注意してください（例えば、国内学会 教育・特別講演の欄には教育・特別講演に該当する発表のみを記載し、一般演題など異なる発表は含めないようにしてください）。

b. 「発表の年」の欄には、年号を**西暦**で記入してください。

ｃ. 「学会等の名称（開催場所）」の欄には、**学会名、回次**と合わせて、国際学会については**（開催都市名, 開催国名）**を、国内学会については、**（開催都市名）**を記入してください。

　(3) 「公的機関の研究費補助金の申請状況」について

a. 申出から遡り過去3年間の日本学術振興会（文部科学省）及び厚生労働省科学研究費補助金について、**研究代表者として**の申請件数、及びそのうち採択された件数を記入してください。

b. 申請資格がない場合は、**“申請資格なし”**と記入してください。